



石野自治会「四季の森」

石野自治会は瀬田石地区の南西部、末広地区との境に位置する自治会です。

当自治会では、農村環境の向上とコミュニティづくりに力を入れており、取り組みを始めて今年で14年目になります。誰もが気軽に集まることができるコミュニティの場を整備するため、市の集落支援員活動事業と補助事業を活用して、自治会館の裏山に7種類の苗木を62本植樹し、「四季の森」として整備しました。四季折々の美しい花や紅葉を楽しめる景観地です。



石野自治会 会長
奈良 節夫さん
Nara Setsuo

誰もが楽しく暮らせる自治会に

石野自治会
17世帯 54人

市役所

生活環境課
コミュニティ推進班
☎ 30-0202

すので、近くを通った際はぜひお立ち寄りください。

現在、自治会員の高齢化が進んでおり、高齢者世帯や空き家も目立つようになってきたため、自治会で話し合い、家の周りの草刈りなどを計画しているほか、高齢者が健康で笑って暮らせるよう、生き生きサロンを毎週火曜日に開催しています。4月は四季の森で花見をし、5月はよもぎを摘んで草餅作りをしました。「昔はどうやって作ったっけ」と思い出しながら作ることで、「脳トレ」にもなりました。

石野自治会は「未来に向かって明るくしていこう」という気持ちを持って一つ一つじっくり話し合っ活動してきた自治会です。先輩たちの活動を振り返り、そして学び、誰もが楽しく過ごせるよう活動していきたいと思ひます。

産業活力課 観光交流班 ☎ 30-0248、大湯ストーンサークル館 ☎ 37-3822

毎年8月19日と20日に行われる「花輪祭の屋台行事 花輪ばやし」は、日本三大囃子の一つに数えられ、ユネスコ無形文化遺産にも登録されています。二日間わたる祭礼とパレードは、誰もが一度はご覧になったことがあるのではないのでしょうか。

花輪ばやしは元々、幸稲荷神社の祭礼で奉納されるお囃子で、最も古い江戸時代中期の記録には、毛馬内月山神社の祭礼と隔年で行うことが記されています。それが現在のよう祭りの形になったのは、江戸時代末期と言われている。当時の記録には「花輪稲荷の祭礼」と書かれています。そのほか、「豊年まつり」や「花輪祭り」など、伝統が引き継がれていく中でさまざまな呼ばれ方をしていました。「花輪ばやし」という名称の起源は、昭和26年の秋田魁新報の記事に見ることができます。

昔の花輪ばやしは、幸稲荷神社の祭礼と、氏子が内々で楽しむ趣旨の付まつり祭のようなものでした。当初屋台を出していたのは三町内(六日町・谷地田町・大町)のみで、大豊作の年には腰抜け屋台のほかに二階建ての本屋台やねぶた祭りのように武者などを乗せた人形屋台なども繰り出されたそうです。昭和30年以降の花輪ばやしは、それまで神事を中心とした祭りだったものから、観光要素を多く取り入れた「見せる祭り」に変化していきました。祭典委員会が発足し、全国のさまざまな地域の祭りを視察したり、民俗芸能イベントに出演したりと活動の幅が広がりました。さらに全町パレード(赤鳥居行事や駅前パレード)が加えられて、皆さんが知る「花輪ばやし」になりました。コロナ禍において、残念ながら花輪ばやしの屋台運行が中止となりましたが、これまでも数回中止になったことがあり、そのうちの1回に驚きの理由がありました。

続きは次号で紹介しします。

鹿角を知る・伝える 市民全員ガイド化計画

市民全員がガイドとして、鹿角の魅力を再発見し、市内外に発信するきっかけとなるよう、市内観光名所や歴史・文化、産業遺産などをシリーズで紹介しします。

「花輪ばやし」

日本語学指導員現地レポート
第11代日本語学指導員 戸脇 美夢さん

三重県出身。留学経験を経て、国際教養大学専門職大学院にて日本語教育を学び、多くの異文化交流イベントの企画・運営に携わるなど、豊富な国際交流経験を活かし渡航。



5月と6月は、毎日のように雨が降っていたショプロンも、すっかり夏らしい天気になってきました。ハンガリーの夏は想像していたよりも過ごしやすいです。日本と違って湿度がなく、日陰に入ると涼しさを感じます。ハンガリーではクーラーがついていない家が多いとんだそう、私のアパートにもついていませんが、窓を開けていれば快適です。ただ、網戸も無いので、夜は蚊対策のアロマオイルを置いています。

こちらの学校は6月15日から夏休みに入りました。日本と違い、宿題や自由研究などは無く、塾に通うという習慣も無いため、子どもたちは約2か月半の夏休みをめいっぱい楽しみます。日本語教室も通常であれば休みになりますが、今年度はオンライン教育だったこともあり、希望者には引き続きレッスンを行っています。

新型コロナウイルス対策の制限も徐々に解除され、生徒と気軽に集まることができるようになりました。レストランやカフェは、テラス席であれば誰でも座ることができますし、ワクチン接種を受けていれば店内に座ることができるので、カフェでレッスンをすることもあります。市内中央には生徒のお気に入りのティーハウスがたくさんあり、いつもそこで集まっています。アイスクリーム屋さんもあり、散歩に出かけたついでに、おいしいアイスクリームを買って帰るのが日課になっています。

7月初旬には「暑中見舞いワークショップ」を行う予定です。年賀状やイースターカードの企画は次々と延期になり、やっとの開催です。鹿角市にお送りする頃には、残暑見舞いになっているかもしれませんが、楽しみにしていってください。



ティーハウスの様子

ブログ公開中 <https://my-sopron-life.blogspot.com/> ぜひご覧ください。

世界遺産登録に向けて

大湯ストーンサークル館 ☎ 37-3822

世界遺産 大湯環状列石

世界遺産登録に向けた取り組み

「登録」勧告を受けて

5月26日、世界遺産の登録などについて審議するユネスコの諮問機関であるイコモスは、大湯環状列石を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産への「登録」が適当であるとの勧告をまとめました。

今後は、7月16日から31日にオンラインで開催される第44回世界遺産委員会において審議され、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産一覧表に記載される見込みです。これに合わせて、パブリックビューイングを行う予定です。

また、登録決定後には大湯環状列石の蔵出し企画展などの登録記念事業を予定しています。詳しくは、広報や市ホームページ、大湯ストーンサークル館公式Twitterなどでお知らせします。

世界遺産登録まであと一歩となりました。引き続き、登録決定に



皆さまからいただいた「応援メッセージ」大湯ストーンサークル館に展示中



登録勧告をお祝いする「どばんくす玉」

世界遺産委員会パブリックビューイング
世界遺産委員会の開催中に、パブリックビューイングを予定しています。日程などは、決まり次第メールにて配信します。

向けて、応援よろしく申し上げます。
※国連教育科学文化機関

